

第2回 環境保全、情報発信WGの開催結果	
日 時	平成23年11月17日(木) 14:00~16:00
場 所	京都府南丹広域振興局(亀岡総合庁舎)3階 第2会議室
出席者	<p>NPO法人プロジェクト保津川 副代表理事 原田 禎夫 グループ長 保津川遊船企業組合 エコ・グリーン対策委員長 森田 孝義 西つつじヶ丘自治会 会長 小松 康之 亀岡駅周辺地区まちづくり協議会 会長 小川 博 NPO法人 亀岡子育てネットワーク 理事長 田中 美賀子</p> <p>(欠席2名)</p> <p>亀岡市環境政策課 山内係長 " 桂川・広域交通課 中井課長、柴田副参事、竹村主査 (事務局) 京都府南丹土木事務所 企画調整室 後田補佐 " 河川砂防室 松崎室長、井尻副室長</p> <p>(順不同、敬称略)</p>
内 容 (次第)	<p>1)開 会 2)前回の振り返り 3)議 事 ○事務局からの報告 ・桂川流域の河川水質の状況 ・河川整備の取り組み事例 ・「南丹ふるさとの川愛護事業」について ・亀岡市の環境美化に関する取り組みについて ・HPの開設について ○意見交換 ・環境保全及び情報発信に係る具体的な取り組みについて 4)閉 会</p>
結 果	<p>○第1回及び第2回での意見を踏まえて具体的な取り組みの案を整理した上で、次回議論を深めていく</p> <p>○先進地視察については、円山川における豊岡市等の環境保全の取組みを候補として、日程等詳細をつめていく</p> <p><主な意見> (環境保全に係る主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川の水質については基準での数値的な評価以外に、きれい、きたない、入って見たいと感じるかなど、人の感じ方で、さらには市民参加での評価などの工夫が必要。 ・下水道の整備で水質は以前に比べ数値的には改善されてきたとは思いますが、田植え時期などの濁りについては課題であると思う。 ・長期的や短期的、個々に或いは流域全体としての取り組み等々、環境保全に関しては様々な手法とそれに係る課題があり、全てが直ちにできるものではない。まずは、できるものから如何に効率的に進めていくかが重要で、その参考として先進地視察は有効だと思う。 ・昔は保津川のアユも有名であったが、今は釣り人も少ない。最上川支川の小国川でアユも経済効果は年間22億円といった試算があるが、保津川ではこのような経済価値を失ってきてしまったと言える。

(情報発信に係る主な意見)

- 保津川の魅力もさることながら、鶺ノ川、西川、年谷川、雑水川、曾我谷川のそれぞれの支川も歴史や文化、自然環境面で個性豊かであり、これは貴重な財産と言え、是非発信していくべき。
- 行政や河川という分野にとらわれず、参加団体の広報誌等をはじめ、いろんなチャンネルで保津川の魅力やイベントの情報を発信し、保津川かわまちづくりのファンを増やして行くことが必要
- 子供達を通じていろんな世代が繋がっていくという点で、例えば小学校やスポーツ少年団等々との連携は重要

